

学ぶ つながる 役に立つ

令和4年10月3日

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉のとおり、朝晩は肌寒く感じるようになりました。秋晴れの空には、うろこ雲(巻積雲)やひつじ雲(高積雲)が浮かんでいます。10月になり学校は今年度の折り返しを迎えました。今月は修学旅行や防災参観日、学年によっては校外学習などが予定されています。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら学習をすすめてまいります。

【 ~ 5年生野外活動 (9/14~16) ~ 】

「友愛・協同・規律・自然愛護」を合言葉に2泊3日の野外活動を行いました。日頃の学校や家庭で味わうことのできないことを自然の中で友だちと寝食をともにしながら活動しました。



カッター研修では、みんなで息をそろえてオールを漕ぐことで、艇が海上をスーッと進む感覚を味わえたようです。

< 6年生児童の投稿が 新聞に掲載されました >

「戦争のない世の中に」

ロシアがウクライナにしんこうして、半年以上たちました。多くの人が帰らぬ人となりました。そして、今もなお、ウクライナの多くの人が苦しんでいます。

ニュースを見ると、激しく戦っている映像が流れ、ウクライナの市民が苦しんでいる姿が目突き刺さりました。どうして関係のない市民が涙をこぼさないといけないのかと思いました。

今の日本は平和ですが、昔の日本みたいに他の国でも戦争が起こっていることに「なぜ、戦争をするのか。なぜ、たくさんの人をぎせいにするのか」という気持ちがわいてきました。

ぼくはロシアに対して、こう訴えたいです。「一人一人の人生をむだにするようなことはやめるべきだ」と。

そして、何よりも戦争のない平和な世の中にするのが大切だと思います。

(6年 梶東 爽星くん)

令和4年9月21日付の中国新聞「ヤングスポーツ」に掲載されました。

「暑い時 マスクに迷い」

私はいつも思っていることがある。体育の授業がとても暑いのだ。

「そうだ、マスクを外してもいいんだ」と思っても、なかなか外せない。

ニュースで、屋外では暑さや熱中しよう対策のため、マスクを外してもいいが、外している人はほとんどいないというのを見た。暑さ対策と新型コロナウイルス感染症対策のどちらを優先するか、私と同じように迷っているのだろうかと思った。

外国ではマスクを外している人が多い光景をニュースでよく見る。暑いのはとてもいやだけど、私はマスクを外すことはできない。顔の一部になってしまったように感じる。マスクをしている時には、鼻が出ないようにマスクを上げるくせがあった。コロナがなければ考えなくていいのに。

コロナ感染がなかなか収まらない中、今は少しでも安心して暮らせるように努めるのが大切だと考えている。

(6年 原田 侑依さん)

令和4年9月28日付の中国新聞「ヤングスポーツ」に掲載されました。